

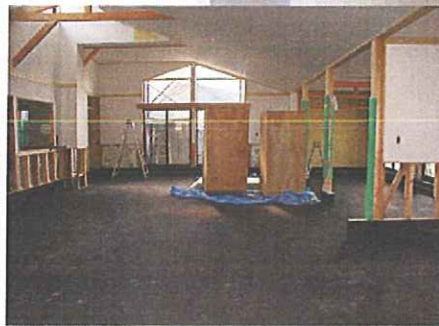
■ ヘルスコ・キュアーの底力

5 月も下旬になり、シロアリが活発に活動する時期に入ってきました。住宅版エコポイントも始まり、建築業界もゆっくりと回復の兆しが見えてきているのではないのでしょうか。まだ健康志向の高まりとともに、住宅だけではなく多くの施設で、『ヘルスコ・キュアー』が防蟻材等として使用されてきています。そこで、ヘルスコ・キュアーの底力と銘打って、今回はヘルスコ・キュアーの多目的活用法のご案内です！

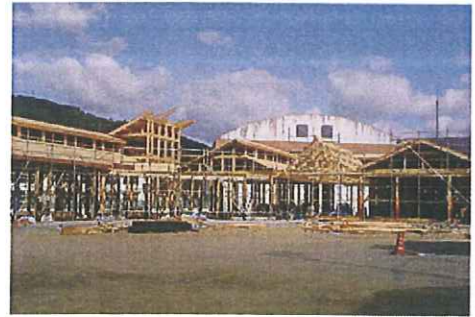
1. 施設での『ヘルスコ・キュアー』の底力



保育園



保育園での防蟻施工風景です。周りは山で、白蟻が多く発生している場所。安全面でも子供たちへの薬剤での害がないようにとの配慮から自然系防蟻材ヘルスコ・キュアーが決まりました。(長崎県)



幼稚園



こちらは幼稚園。こちらも周りを自然で囲まれ、白蟻が多い場所。木造校舎の床下に全面採用されました。施工面積は約 400 m²です。こちら子供たちの健康面を思っでの施工です。(愛媛県)

2. 防腐剤としての『ヘルスコ・キュアー』の底力



防腐処理で使用。バス停のベンチに塗布されています。(東彼杵郡 大楠小学校下バス停)



役場の待合室でも活躍しています。落ち着いた木炭色が、場の雰囲気をもたせてくれます。



木製ベンチの上部はヘルスコート、足部分にヘルスコ・キュアーを塗布。



塗布作業中の山積みになったベンチ



バンガローの施工



バンガロー床下

キャンプ場のバンガローの床下です。白蟻の多い山中でも、自然に優しいヘルスコ・キュアーがその威力を発揮します。



ハウステンボス 桟橋手すり

『ハウステンボス』人の多い観光地でも、木炭だから風景に優しく溶け込みます。



マスト滑車



ハウステンボス 「観光丸」

NHK大河ドラマ「龍馬伝」のロケにも使用された観光丸です。

3. 樹木への『ヘルスコ・キュアー』の底力

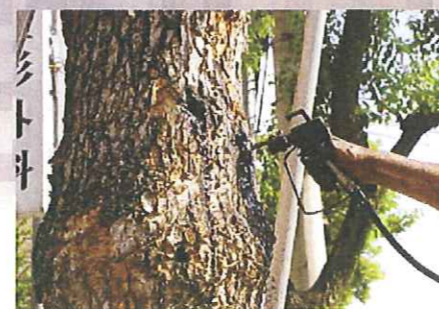


広島原爆 被爆松



この部分

被爆地・広島に残る『被爆松』です。樹齢 170 年。爆心地から 1800m で被爆した饒津神社の並木松です。最後の 1 本が平成 15 年に枯死し、各 NPO 団体の活動により、切り株を樹皮付きで保存することに。土台部保存材としてヘルスコ・キュアー採用。同じ被爆地・長崎で製造されたヘルスコ・キュアーも、平和を訴え続けます。



長崎市 街路樹

白蟻被害を受けた街路樹。駆除処理後、ヘルスコ・キュアーで処理。



横浜市

腐朽菌(カビ)対策のため、ヘルスコ・キュアー使用。塗布より 4 年後、樹木医から効果にお墨付を頂いた。

『ヘルスコ・キュアー』は、自然素材だから安心して使用できる。それゆえに、自然志向・健康志向の高まりとともに、教育施設、公共施設、官公庁、医療施設をはじめ、多くの施設で採用されています。また、塗布する目的は防蟻対策と防腐対策の二つに大きく分かれています。通常、『ヘルスコ・キュアー』はその高い防蟻効果に着目される傾向にありますが、意外と多くの場所で“防腐処理”として使用されていることが分かります。

★お知らせ

NPO 法人日本自然素材研究開発協議会主催 『第 117 回防蟻・防腐認定施工者研修会』開催します
開催日時：7 月 16 日 (金) 9:45~16:30 開催場所：福岡市博多区博多駅前 2-9-28 福岡商工会議所 B1-a

アーテック工房社員ブログも情報満載です！ → <http://ahtech.jugem.jp/>